



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

エジプト：大統領選挙の結果発表の延期

(21日付アハラーム紙ほか)

研究員 江崎 智絵

2012年6月20日、大統領選挙管理委員会は、21日に予定されていた大統領選挙の決選投票の結果発表を延期するとの声明を発出した。結果が発表される新たな日程は、明らかにされていない。

同声明によれば、結果発表の延期は、400件以上寄せられている投票に関する不正等への不服申立てに対する審査を続けるためであるとされた。ムスリム同胞団の公認政党である自由公正党党首のムルシー候補に関する不服が124件であるのに対し、軍出身でムバーラク政権の最後の首相であったシャフィーク候補に関する不服は221件となっている。

6月18日、ムスリム同胞団は、各投票所の関係者が明らかにした開票結果に基づき、大統領選挙に関する勝利宣言を行った。同胞団によれば、得票率はムルシー候補が51.8%、シャフィーク候補が48.1%とされた。19日には、エジプト国営テレビが独自の暫定集計結果に基づき、ムルシー党首が有効票の約52%を、シャフィーク元首相が約48%を獲得したと報じた。他方、シャフィーク陣営も、同陣営こそが大統領選挙に勝利したと主張した。